

除菌衛生水「えこる水」超音波式専用噴霧器「Ecolle」

除菌衛生水

「えこる水」

超音波式専用噴霧器

「Ecolle」

平成21年2月販売開始

超音波式専用噴霧器「Ecolle」本体仕様

品名 超音波式専用噴霧器「Ecolle(えこる)」
 カラー 本体:ホワイト / タンク:ブルー(クリア)
 材質 本体:ABSプラスチック
 タンク:ASプラスチック
 サイズ 外寸:W260×D170×H310(mm)
 重量:約2.1kg(乾燥時)
 機能 噴霧量調整可
 空水時自動運転停止機能
 製品仕様 噴霧方式:超音波振動噴霧方式
 定格:100V 50/60Hz
 消費電力:30W
 タンク容量:4.65ℓ
 噴霧能力:250±50ml/時
 連続噴霧時間:約16時間(最大噴霧時)
 対応規模:10畳～15畳程度



オフィス・家庭向け噴霧用にパッケージ化

Ecolleは強力な除菌・消臭力を持つ専用水「えこる水」を超音波方式により0.5～3ミクロンの超微粒子にし、広範囲に渡り、除菌・保湿・冷却・消臭を同時に効果的に行うことが出来る装置です。市販の加湿器では冬季の空気の乾燥によるインフルエンザ対策として加湿のみでしたが、Ecolleは加湿+除菌が出来る事により、インフルエンザ対策はより万全になります。除菌・消臭は季節問わずの対策となるためEcolleは春夏秋冬の1年間通して活躍します。



Hybrid Service

1. 食品製造加工工場	10. 洗ビン・ボトルキャップ洗浄工場
2. 屠場・食肉加工工場	11. 飲料工場
3. 食鳥加工工場	12. 酪農・養豚・養鶏・洗卵工場
4. 生野菜のカット加工工場	13. 鮮魚加工工場・魚市場
5. 水産加工工場	14. SM/SC/百貨店のフードコート&バックヤード
6. 給食・弁当・惣菜のセントラルキッチン	15. ファミリーレストラン/居酒屋などの厨房
7. 学校給食施設/社内食堂	16. 医療関連施設/老人福祉施設/介護施設
8. ホテル/旅館/結婚式場の厨房	17. 動物病院
9. 乳業・乳製品工場	

『えこる水』とは、既に大手食品メーカーの工場などで食品素材などの除菌、殺菌のために業務用で採用実績のある『カンファ水』を従来のカンファ水の業務用途の仕様からインフルエンザやO-157、ノロウイルスなどの予防のためにオフィスや家庭向けにパッケージ化して製作した専用の除菌水です。『えこる水』と『カンファ水』は全く同じ成分です。



業務用除菌衛生水をオフィス・家庭に

Ecolle

えこる水

強力な除菌力

一般の環境下に存在するほとんどの細菌・ウイルスに有効です。

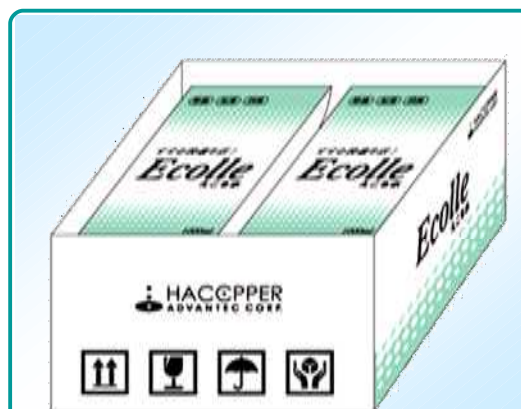
瞬時の消臭力

嫌な臭い、気になる臭いの成分を分解・変形させ臭いの元から断ちます。

高い安全性

今までは「強力=有害」えこる水は違います。「強力なのに無害」です。

えこる水は食品工場や病院など厳しい衛生管理基準を守るプロの現場で培った技術を基に Ecolle を用いて、潤いだけではなく除菌力と消臭力を兼ね備え衛生空間を提供するために生みだされました。そして優れた効果を持ちながらも安全性が高く、誰でも安心してご使用頂ける水です。



製品仕様は画像と異なる場合がございます。

Ecolle 1ケース(1パック × 12本入)

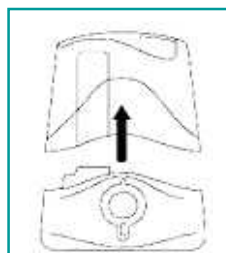
えこる水

本製品量は約1ヶ月分となっております。
(噴霧量「中」程度(200ml/時)、8時間/日で約30日分)
噴霧量及び稼働時間によって異なります。

成分: 食品添加物製剤(次亜塩素酸Na、希塩酸)

飲用水ではありません。 芳香剤ではありません。

ご使用方法 えこる水の給水方法・手順



Ecolle本体よりタンクを取り外します。



タンク底面のタンクキャップを取り外します。



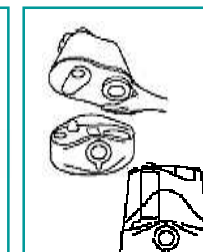
切り取り線に沿ってハサミを入れ開封します。



えこる水をタンクへ入れます。
1パック1回分になりますので残すことなくタンクへ入れて下さい。



水道水で希釈します。
水道水の給水量はタンク満水まで入れて下さい。



タンクキャップを装着し、タンクを本体に装着します。

使用上の注意

本製品は「Ecolleえこる」以外の市販加湿器等にはご使用になれません。市販加湿器に使用した場合、故障の原因となります。本製品を「Ecolleえこる」以外の用途に使用しないでください。

開封後はすぐにご使用下さい。効果的な状態を保持するため、保管はなるべく直射日光を避けた冷暗所に保管して下さい。

Hybrid Service

次亜塩素酸ナトリウム (NaOCl) が関与する反応機構は複雑で、消臭への途中経過の詳細を把握するのは困難ですが、消臭も殺菌と同じ原理ですから、殺菌力と同じように次亜塩素酸ナトリウムの消臭効果を数十倍に高めたものがえこる水(カンファ水)なのです。例えば、えこる水(カンファ水)はアンモニアをジクロラミンに換えて消臭します。



微生物や細菌等は弱い菌から強い菌まであり、えこる水と同様の成分であるカンファ水はほとんど全ての菌種に対抗する広い抗菌スペクトルをもちます。一般に医療関連施設などでは細菌の種類に応じ消毒剤を使い分けており、最も強い菌にはグルタールアルデヒドなどを使用していますが、その殺菌効果にも匹敵し、弱い菌から強い菌までほとんどの菌種に対抗します。

えこる水と同様の成分であるカンファ水は強力な殺菌力をもつ「次亜塩素酸 (HOCl)」を80%以上含まれるように生成されるため、殺菌力が強力なのです。

<注1> 塩素を水と反応させると塩素ガス (Cl₂) と、次亜塩素酸 (HOCl) と、次亜塩素酸イオン (OCl⁻) の3種類に変化します。このうち次亜塩素酸と次亜塩素酸イオンが殺菌作用を示し、これを「遊離有効塩素」と呼びます。特に次亜塩素酸の殺菌力は、次亜塩素酸イオンの約80倍もあります。アメリカ環境保護局 [EPA] の検査で、大腸菌を死滅させるのに要した時間を、次亜塩素酸が1分とすれば、次亜塩素酸イオンでは80分かかっています。これは次亜塩素酸が次亜塩素酸イオンの80倍の殺菌効力を持つことを表しています。

<消臭試験データ>

- 1.5tトラックの冷凍コンテナ2台にてカンファ水とA社消臭剤にて消臭効果について比較検討しました。
- A社消臭剤は2分間噴霧しました。
- カンファ水 (50ppm) はコンテナ内にまんべんなくスプレーしました。
- それぞれ噴霧、スプレー使用前と使用後を作業従事者5名により官能試験を行いました。

	A	B	C	D	E
A消毒液	3C	4C	3	4	4C
カンファ水	4	4	4	4	4

評価方法

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1: 使用前と変わらない | 4: かなり減った (ほとんど匂いはしない) |
| 2: 使用前とあまり変わらない | 5: 匂いが全くしない |
| 3: 減った | C: 匂いが変わって気になる |

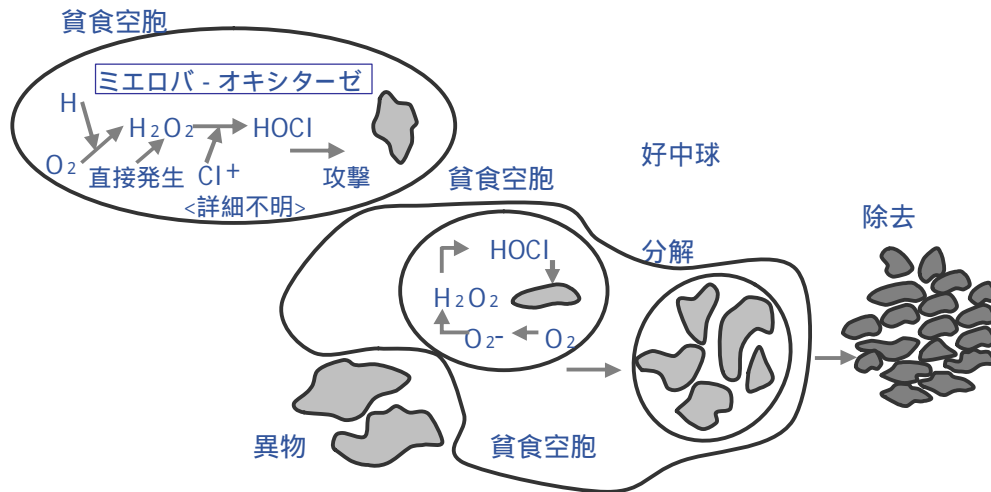
<注> カンファ水による消臭は、腐敗臭に対してであり、食材そのものの味覚・臭いを損なうことはありません。

えこる水(カンファ水)の安全性

人体に影響を与えません

えこる水(カンファ水)は、中性に近い弱酸性、低濃度で使用できるために皮膚の炎症や手荒れなどを起こしません。また、体内に吸収したえこる水(カンファ水)の殺菌力の主成分である次亜塩素酸(HOCl)は人体内で細菌などの異物と反応した後効果が残留しないため人体に影響を与えず無害です。

< 体内でも次亜塩素酸(HOCl)が作られ殺菌作用が行われている >



血液中で次亜塩素酸が発生しているという事は意外と知られていません。活性酸素が体内に侵入した細菌などの異物を分解しているといわれていますが、実際は次亜塩素酸に変化した形で働いているのです。というのは、好中球にはミエロパーオキシターゼという酵素が大量に存在し、活性酸素の一種である過酸化水素を塩素イオンと反応させ次亜塩素酸を作り出すからです。好中球がこの次亜塩素酸を生成させるのは「安全に殺菌するため」なのです。生命は数億年かけて、この次亜塩素酸による殺菌を行っていたのです。

出展：学会出版センター「活性酸素と疾患」

カンファ水とは

『カンファ水』とは、厚生労働省が食品の殺菌剤として食品添加物に認可している次亜塩素酸ナトリウムと希塩酸を独自の製法で希釈混合し生成された水であり、『カンファ水』と『えこる水』は全く同じ成分です。

『カンファ水』は、弱い菌(大腸菌、黄色ブドウ球菌、レジオネラ菌、白癬菌、糸状菌など)から、強い菌(インフルエンザウイルス、トリインフルエンザ、結核菌、枯草菌、セレウス菌、ボツリヌス菌など)まで、ほとんどの菌に対抗できる効果があるとされています。また、年中噴霧させることによって、冬は保湿効果、夏は冷却効果もあります。

カンファ水が安全であることは、動物実験によっても立証されています。ウサギあるいはマウスを用いた試験によって、経口毒性、目の粘膜や皮膚に対する刺激性、遺伝的変異の誘発性が無いことが確認されています。

単回経口投与毒性試験 (急性毒性試験)	異常は認められない
眼刺激性試験	刺激性なし
皮膚一次刺激性試験	刺激性なし
皮膚累積刺激性試験	刺激性なし
感作性試験	感作性なし
コロニー形成阻害試験 (細胞毒性試験)	問題はない程度
復帰突然変異試験 (変異原性試験)	誘起する作用なし